

1. 地域公共交通計画について

(3) 利用者意向調査について (案) <今回の協議事項>

- 目的：地域公共交通の利用実態や利用意向等を把握し、今後のネットワークのあり方を検討する基礎資料とする。(現状把握と課題整理)
- ※住民アンケートとは、別に実施することで、住民と利用者のギャップがどのくらいあるのか知ることができる。利用実態を把握して何ができるのか、どういった利用促進施策ができるのかの検討材料とする。
- 調査時期：11月の平日1日間
- 調査方法：利用者等を対象にした、「駅等でのヒアリング調査」及び「デマンドタクシー調査」

表 利用者調査計画

モード	方法	調査地点	地区	備考
鉄道	調査員が調査票を手渡し配布	妙見口駅	町西部	町内全駅
		ときわ台駅	町西部	
		光風台駅	町西部	
路線バス	調査員が調査票を手渡し配布	希望ヶ丘四丁目	町東部	始発系統多し
		余野(東能勢中)	町東部	始発系統多し
		支所前	町西部	町西部の全系統が経由
	調査員がバス車内で聞き取り	(車内)	町西部	豊能西線等を想定
デマンドタクシー	乗務員より手渡し配布	(車内)	町全体	1週間程度を想定

○配付数 (想定)

【鉄道】 約 570 人 (1日の利用者数の20%を想定)

【バス】 約 60 人 (1日の利用者数の40%を想定)

約 70 人 (車内聞き取り、調査員3人)

【デマンドタクシー】 約 120 人 (車内配付、調査日数7日)

【合計】 約 820 人

○回収方法：郵送

○調査票：別紙 (案) 参照